



農産物の生産管理や6次産業化を学習し、関連産業や地域に根ざした人材育成を目指します

食料生産科では、私たちが生きていくために欠かせない「食」について学ぶことができます。農産物の栽培（作物・野菜・果樹）、家畜の飼育（牛）、食品の製造が学習の柱です。

また、地域に根ざした活動を積極的に展開し、鹿沼の特産品を利用した商品開発や「かぬま和牛」の飼育などに取り組み、農業や畜産、食品、生命科学分野への進学や関連産業に貢献できる人材の育成を目指しています。



作物部 ～お米甲子園高校生の部最優秀賞～

地域のブランド米である「ゆうだい21」の栽培を初めて行い、「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町」高校生部門において、最優秀金賞を受賞しました。



野菜部 ～「とちおとめ」の栽培に挑戦～

イチゴの新品種を調査研究し、特に、人気のある「とちおとめ」の栽培に挑戦しました。



果樹部 ～移動果樹園～

近隣の小学校に、本校の果樹園を移動し、ブルーベリーの収穫体験をしてもらいました。



また、1日体験では、中学生に栽培や収穫の注意点等を説明しました。



畜産部 ～「鹿南百照号」への感謝状～

農業高校初。種雄牛候補牛を一般社団法人家畜改良事業団に販売し、栃木県和牛改良協議会より、感謝状をいただきました。



食品製造部 ～地域の特産品を利用した商品開発に挑戦～

鹿沼の特産品である、コンニャクやコンニャクの粉を材料に加え、カロリー控えめな商品開発に挑戦しました。何度も試作を行い、コンニャクの触感や見た目の特徴を確認しました。



外部との連携・交流

～加蘇地域の方々との交流について～

サツマイモの栽培管理を通して、加蘇地域の方々との交流をしました。栽培管理方法の注意点や農業を行うことで、地域活性化をどのように行えば良いか、など意見を交換しました。



～「かぬま和牛」のPR活動～

私たちが、飼育管理した「かぬま和牛」を知ってほしいと考え、大手量販店や鹿沼の秋祭りにおいて、販売実習を行いました。多くの消費者の方々に説明することができました。また、畜産の授業を通して、岐阜県の生徒の方々と交流をすることができました。



農業の楽しさを授業から学んでいます

農業クラブ

全国大会家畜審査競技会肉牛の部

熊本大会に出場し、優秀賞を頂くことができました。家畜の将来性を見極めることは、経営に直結することを理解できました。



私たちは、毎日、農産物の栽培管理や家畜の飼育を学び、農業の楽しさを学んでいます。



緑地環境・森林環境の保全や利用を学習し、関連産業や地域に根ざした人材育成を目指します

地域の自然環境を保全するための方法や緑地・森林などの環境問題等について学習します。具体的な学習内容として、私たちの生活をより快適にするために、草花や造園、林業関係の学習を通して、園芸装飾やガーデニング、樹木の伐採・管理方法やキノコ栽培方法など、幅広く知識・技術について学習します。また、地域の問題や課題解決に向け、環境学習や地域交流、ボランティア活動に取り組むとともに、伐木特別教育や造園技能士3級など資格取得を目指し、地域に根差した人材の育成を目指しています。



サツキ栽培 ～海外輸出にむけて～

鹿沼市は、サツキツツジの日本有数の生産地として、全国にその名を知られています。現在、世界的な盆栽ブームに相まって、サツキに海外からの熱いまなざしが注がれ、サツキの輸出が増加しています。一方で、盆栽用苗木の生産農家は減少し、将来的には苗木の供給不足が懸念されています。

本校は、このような状況を踏まえ、日本の高校として初めてサツキの生産から輸出に挑戦し、サツキ盆栽の輸出許可を取得しました。また、帝京大学、理化学研究所の御協力の下、重イオンビームによる新品種育種を行っています。



外部機関との連携によるスマート林業の取組

本校には、県内唯一の林業コースがあり、森林科学や林産物利用など林業関係の科目の学習を通して、森林・山林の管理や木材利用、キノコの栽培方法などを幅広く学んでいます。

将来性の高い若者の林業就業促進を図るため、各関係機関と連携し、林業従事者として必要な知識と技術を体験的に学習します。

